

エコアクション 環境活動レポート

(取組期間:平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月)

福島の
へそ のまち もとみや



本宮市イメージキャラクター まゆみちゃん

平成 28 年 12 月

福島県 本宮市

目 次

本宮市環境方針	1
1.組織の概要	2
2.実施体制	
(1) エコアクションを運用する組織体制	4
(2) エコアクション推進体制における役割	5
3.環境目標と環境への負荷の状況	
(1) 本宮市役所地球温暖化防止実行計画における全体目標	6
(2) 平成27年度の削減目標	7
(3) 平成27年度の実績と削減目標との比較	9
4.環境への取組状況と評価	
(1) 市の事務事業における環境に対する取り組み方針と取り組み項目	12
(2) 取り組みチェックと評価	14
(3) 地域環境への取り組み状況	15
5.環境に関する苦情の受付状況	21
6.環境関連法規への違反、訴訟等の有無	22
7.代表者による全体の評価	25

本宮市環境方針

〈基本理念〉

本宮市は、「本宮市環境基本条例」の基本理念に基づき、全職員が一丸となって全ての行政活動において環境の保全と創造のため、率先してその役割を担っていきます。

- 環境の保全と創造は、全ての市民が健康で安全かつ快適な文化的生活を営むことができる良好な環境を確保し、これを将来の世代へ継承していくことを目的として行われなければならない。
- 環境の保全と創造は、人と自然が共生し、環境への負荷の少ない持続的発展が可能なまちの実現を目的として行われなければならない。
- 地球環境保全は、人類共通の課題であり、すべての日常生活及び事業活動において、積極的に推進されなければならない。

「本宮市環境基本条例 第3条（基本理念）」より

〈環境方針〉

- 1 市民、事業者、行政が協働しながら、本宮市環境基本計画に基づき、環境の保全と創造に関する施策及び事務事業における取り組みを積極的に推進します。
- 2 地球温暖化防止対策を推進するため、市は自らが事業者及び消費者としての立場であるとの認識のもとに、率先して省資源、省エネルギー、廃棄物の適正処理及び減量化、環境に配慮した物品の購入などに取り組みます。
- 3 東日本大震災に伴う原発事故により、電力をはじめとする環境への配慮が一層求められている中、環境負荷の低減と再生可能エネルギーの導入に取り組みます。
- 4 これらの取り組みについては、具体的な目標と期間を定め、その達成状況を把握しながら、定期的に見直すとともに継続的な改善活動を実施します。
- 5 全職員が参画し、環境経営のために組織運営体制を構築し、環境方針の周知徹底を図り、継続的な研修、啓発に努めながら各自の役割、責任の所在を明確化し、自主的な活動を実施します。
- 6 環境関連法令等を遵守し、自ら定めた環境への取り組みを率先して推進し、環境の保全と創造に努めます。
- 7 環境方針及び環境経営システムに基づく活動の結果については全職員に周知するとともに、広く市民へも公表し情報の公開と交流に努めます。

平成23年4月1日 策定

本宮市長 高松 義行

1. 組織の概要

(1) 市の概要

本宮市は、平成 19 年 1 月 1 日に本宮町と白沢村の 2 町村が合併し、現在の本宮市が誕生しました。(総面積 87.94 k m²)

本市は、福島県のほぼ中央に位置し、市の東部には阿武隈山系の岩角山、岳山などの山並みや丘陵地及び農地が広がり、西部には安達太良山から連なる大名倉山を中心とした山並みを有しています。総面積の



33%を山林が占めており、これらの山林と農地が市の中心部を取り囲む形となっています。

また、東北地方を代表する「阿武隈川」が市の中央部を流れ、両側に広がる平地を中心に市街地が形成されています。市内には阿武隈川の支流である五百川、安達太良川、白岩川、仲川など多くの河川が流れると共に、水路やため池が数多くあり、うるおい豊かな水辺空間に恵まれています。



市の花 ぼたん



市の木 まゆみ



市の鳥 うぐいす

(2) 自治体名及び代表者名

本宮市

代表者名 本宮市長 高松 義行

(3) 所在地

本庁舎

福島県本宮市本宮字万世 212 番地

白沢総合支所

福島県本宮市白岩字堤崎 494 番地 22

(4) 環境管理責任者名

本宮市市民部長

(5) 担当課

本宮市 市民部 生活環境課 環境係

所在地：福島県本宮市本宮字万世 212

電 話：0243-24-5362 F A X：0243-34-3138

E-mail：kankyou@city.motomiya.lg.jp

(6) 事業活動の内容

本宮市役所における行政事務

(7) 組織の規模

平成 27 年度一般会計当初予算額 32,547,000 千円

職員数（特別職を含む）265 名

(8) 取組みの範囲

現在、本宮市役所では「本宮市役所地球温暖化防止実行計画（第 2 次改訂）」に基づき、全庁で地球温暖化対策に取り組んでいます。本庁舎、総合支所、保健福祉施設及び教育施設など公共施設において取り組んでいます。



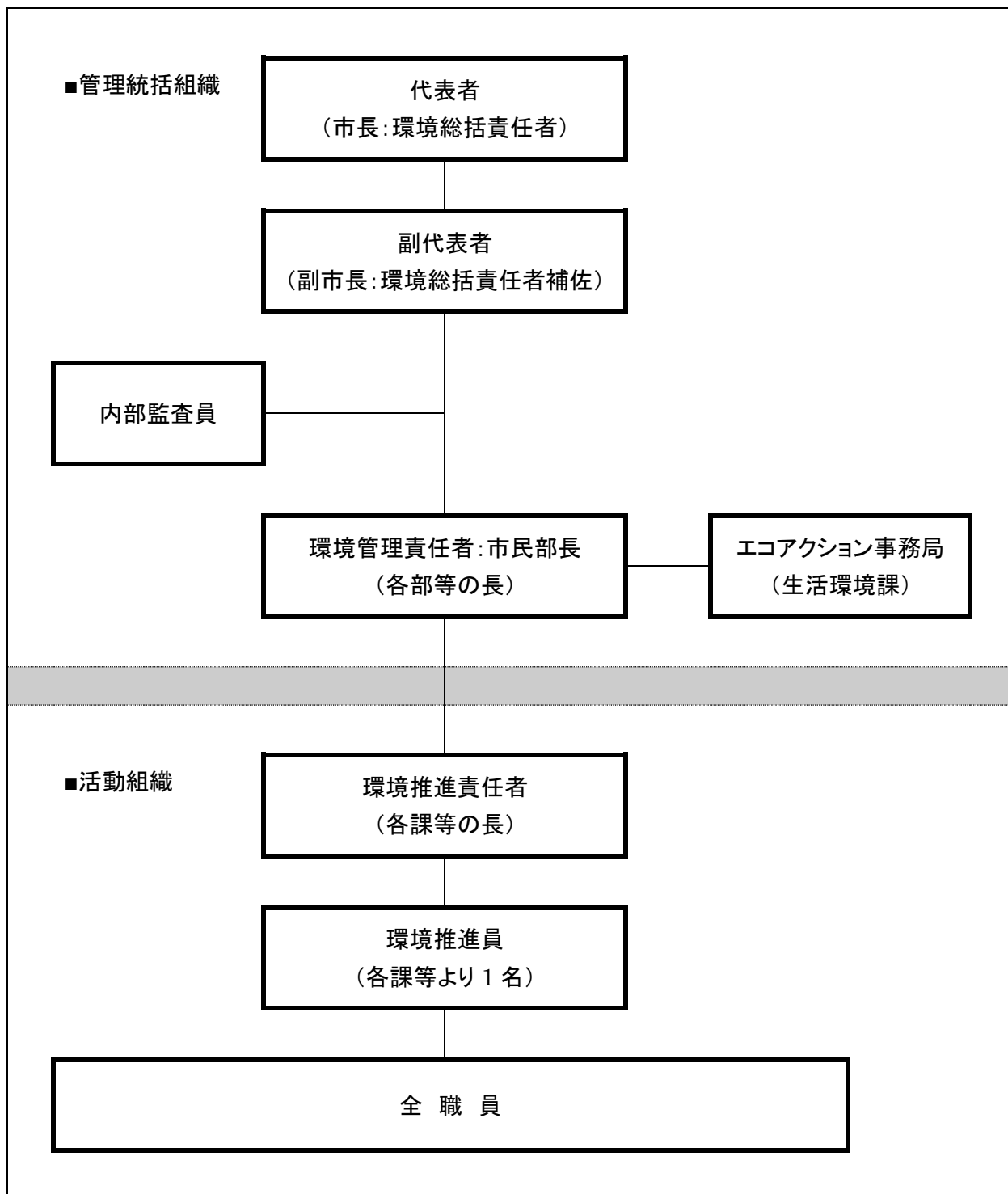
本宮市役所 本庁舎

2. 実施体制

(1) エコアクションを運用する組織体制

環境総括責任者である市長が組織の代表者となり、副市長は環境総括責任者を補佐し、組織の副代表となります。

各部等の長は、環境管理責任者となり、環境推進責任者である各課等の長並びに環境推進員とともに適正な運用を推進します。



(2) エコアクション推進体制における役割

◆代表者（市長）

- ・環境方針の策定
- ・エコアクションの実施及び運用に必要な諸資源の用意
- ・システム全体の評価と見直し

◆副代表者（副市長）

- ・各部署への運用指示
- ・エコアクションの構築、実施、管理

◆環境管理責任者（代表：市民部長）

- ・所管における環境推進責任者への取り組みの指示
- ・市全体の環境目標及び環境活動計画についての審議
- ・環境活動レポートについての審議
- ・システムの活動状況についての審議

◆環境推進責任者（各課等の長）

- ・所管の職員に対し、取り組みを徹底
- ・所管事務事業におけるシステム運用上の取り組み事項の決定
- ・所管事務事業における環境関連法規の整理、その他遵守状況の把握
- ・所管事務事業における環境に関する苦情、要望、問題について適切な対応

◆環境推進者（各課等 1 名推薦）

- ・エコアクションの運用における各所属のリーダー的役割
- ・所管事務事業における環境への負荷データの把握
- ・所属における環境への取り組み状況の把握

◆エコアクション事務局（市民部 生活環境課）

- ・エコアクションに関する情報提供
- ・エコアクション関連書類の原案の作成、保管
- ・全般における環境への負荷の把握
- ・全般における環境への取り組み状況の把握
- ・システム運用のための教育、訓練の実施

3. 環境目標と環境への負荷の状況

(1) 本宮市役所地球温暖化防止実行計画における全体目標

「本宮市役所地球温暖化防止実行計画」では温室効果ガス（二酸化炭素）の排出量について、平成 25 年度を基準とし、平成 30 年度までに 3.0%以上削減することを目標としています。

■本宮市役所地球温暖化防止実行計画における温室効果ガスの全体排出削減目標 【t-CO₂】

区 分	基準年度(H25)	計画目標値(H30)	削減率(%)
施設からの排出量	3,474.5	3,370.3	3.0
車両からの排出量	152.0	147.4	3.0
合 計	3,626.5	3,517.7	3.0

■種類ごとの使用量及び排出量

区 分	基準年度 (H25)		計画目標値 (H30)	
	使用量	【CO ₂ 排出量】 t-CO ₂	使用量	【CO ₂ 排出量】 t-CO ₂
電気(kwh)	4,002,342	2,221.3	3,882,271	2,154.7
水道(m ³)	144,704	52.1	140,362	50.5
ガス(m ³)	13,847	41.5	13,431	40.3
灯油(ℓ)	298,440	743.1	289,486	720.8
重油(ℓ)	153,700	416.5	149,089	404.0
ガソリン(ℓ)	50,643	117.5	49,123	114.0
軽油(ℓ)	13,153	34.5	12,758	33.4
合 計		3,626.5		3,517.7

(2) 平成 27 年度の削減目標

温室効果ガスの排出削減目標については、本宮市役所地球温暖化防止実行計画と連動し全庁的なものとします。

平成 25 年度を基準とし、平成 30 年度までに 3.0%以上削減することを目標としています。平成 27 年度は平成 25 年度比で 1.2%削減することを目標とします。

■種類ごとの使用量

区 分	①平成 25 年度 (基 準)	②平成 27 年度 目 標	削減率 (①-②)÷①×100	平成 30 年度 目 標
電気(kwh)	4,002,342	3,954,313	1.2%	3,882,272
水道(m ³)	144,704	142,967	1.2%	140,363
ガス(m ³)	13,847	13,680	1.2%	13,432
灯油(ℓ)	298,440	294,858	1.2%	289,486
重油(ℓ)	153,700	151,855	1.2%	149,089
ガソリン(ℓ)	50,643	50,035	1.2%	49,124
軽油(ℓ)	13,153	12,995	1.2%	12,758

■温室効果ガス排出量

【t-CO₂】

区 分	平成 25 年度 (基 準)	平成 26 年度 実 績	平成 27 年度 目 標	平成 28 年度 目 標	平成 29 年度 目 標	平成 30 年度 目 標
電気	2,221.3	2,266.3	2,194.6	2,181.3	2,168.0	2,154.7
水道	52.1	52.5	51.5	51.2	50.8	50.5
ガス	41.5	43.0	41.0	40.7	40.5	40.3
灯油	743.1	854.9	734.2	729.7	725.2	720.8
重油	416.5	376.4	411.5	409.0	406.5	404.0
ガソリン	117.5	106.4	116.1	115.4	114.7	114.0
軽油	34.5	32.2	34.1	33.9	33.7	33.4
計	3,626.5	3,731.7	3,583.0	3,561.2	3,539.4	3,517.7

■廃棄物排出量

廃棄物の減量化に常に努めるものとし、排出削減目標値は、平成 25 年度を基準とし平成 30 年度までに 5.0%以上削減することを目標とします。また、段ボールや新聞紙などは有価物としてリサイクル業者に引渡し資源化を図ります。

【単位：kg】

区 分	平成 25 年度 (基 準)	平成 27 年度 目 標	平成 30 年度 目 標
4・5・6月	4,337	4,250	4,120
7・8・9月	4,756	4,661	4,518
10・11・12月	4,640	4,547	4,408
1・2・3月	4,030	3,949	3,828
計	17,763	17,407	16,874

■用紙類(紙)使用量

用紙類は作製部数の適正化やペーパーレス化を推進し、平成 25 年度を基準とし平成 30 年度までに 5.0%以上削減することを目標とします。

【単位：枚】

区 分	平成 25 年度 (基 準)	平成 27 年度 目 標	平成 30 年度 目 標
A 3	81,000	79,300	76,900
A 4	2,710,000	2,656,000	2,574,500
B 4	12,500	12,200	11,800
B 5	17,500	17,100	16,600
計	2,821,000	2,764,600	2,679,800

■グリーン購入調達量

本宮市グリーン購入の推進に関する基本方針に基づき、環境負荷の低減に資する物品(環境物品)の購入に際し、調達目標を原則 100%とします。

(3) 平成 27 年度の実績と削減目標との比較

1) 施設・車両の種類別温室効果ガス排出量

区分	電気	水道	ガス	灯油	重油	ガソリン	軽油	計
目標 ① (H27)	2,194.6	51.5	41.0	734.2	411.5	116.1	34.1	3,583.0
実績 ② (H27)	2,215.8	53.2	47.8	747.6	529.5	106.5	26.2	3,726.6
達成度 ①÷②×100	99.0	96.8	85.8	98.2	77.7	109.0	130.2	96.1
前年度実績 (H26)	2,266.3	52.5	43.0	854.9	376.4	106.4	32.2	3,731.7

① 施設の種類別使用量の前年度比較

区分	年度	電気 (kwh)	水道 (m ³)	ガス (m ³)	灯油 (ℓ)	重油 (ℓ)
本庁舎	H27	305,644	3,978	98	830	0
	H26	292,822	5,136	111	1,974	4,300
	前年比	104.4	77.5	88.3	42.0	皆減
白沢総合支所	H27	69,517	272			
	H26	74,416	278			
	前年比	93.4	97.8			
保健・医療・福祉 施設	H27	459,424	13,953	477	42,972	
	H26	553,099	13,088	517	42,404	
	前年比	83.1	106.6	92.3	101.3	
社会教育・社会 体育施設	H27	1,252,546	36,774	891	165,492	10,900
	H26	1,286,038	35,551	1,273	187,066	13,000
	前年比	97.4	103.4	70.0	88.5	83.8
その他の行政 施設	H27	19,422	337	39	2,020	
	H26	16,623	691	51	1,960	
	前年比	116.8	48.8	76.5	103.1	
保育所・幼稚園	H27	187,629	11,368	4,128	18,184	
	H26	187,168	11,382	4,140	18,392	
	前年比	100.2	99.9	99.7	98.9	
小・中学校	H27	1,020,092	43,269	7,822	70,165	
	H26	997,127	41,455	5,704	90,723	
	前年比	102.3	104.4	137.1	77.3	

区分	年度	電気 (kwh)	水道 (m ³)	ガス (m ³)	灯油 (ℓ)	重油 (ℓ)
給食センター	H27	179,670	31,664	2,434		184,000
	H26	179,986	33,288	2,514		120,000
	前年比	99.8	95.1	96.8		153.3
その他(産業・公園等)	H27	498,450	6,129	40	585	500
	H26	496,180	4,935	15	827	1,600
	前年比	100.5	124.2	266.7	70.7	31.3
計	H27	3,992,394	147,744	15,929	300,248	195,400
	H26	4,083,459	145,804	14,325	343,346	138,900
	前年比	97.8	101.3	111.2	87.4	140.7

施設における温室効果ガス排出量は、いずれも削減目標に達しませんでした。特に重油においては、本庁舎の空調のエネルギー源を重油から電気に切り替えましたが、給食センターでの使用量が増えたことにより増大しました。ただし、平成27年度から小・中学校の教室のエアコンを使用開始したにもかかわらず、電気使用量は大きく増大せず、節電に心掛けた結果、電気は削減目標にかなり近づいています。

② 車両の燃料使用量の前年度比較

区分	ガソリン(ℓ)	軽油(ℓ)	計(ℓ)
H27	45,904	10,005	55,909
H26	45,861	12,283	58,144
前年比	100.1	81.5	96.2

ハイブリッド車の導入やバイオディーゼル燃料(BDF)の使用継続により、ガソリン・軽油とも削減目標を達成しています。

2) 廃棄物排出量

【単位：kg】

区分	廃棄物量	資源物量
目標 ① (H27)	17,407	
実績 ② (H27)	19,455	11,608
達成度 ①÷②×100	89.5	
前年度 (H26)	18,144	10,422

廃棄物の量は平成26年度に比べ約1,300kg増加し、目標も達成することができませんでした。

ごみの分別に今後も取り組み資源化を進めます。また段ボールや新聞紙などの紙類については資源物として出すことにより、可燃ごみの減量化を図っていきます。

4) 用紙類（紙）使用量

【単位：枚】

区分	A 3	A 4	B 4	B 5	合計
目標 ① (H27)	79,300	2,656,000	12,200	17,100	2,764,600
実績 ② (H27)	85,000	2,509,500	3,500	3,000	2,601,000
達成度 ①÷②×100	93.3	105.8	348.6	570.0	106.3
前年度 (H26)	98,500	2,696,500	4,000	4,500	2,803,500

コピー用紙の使用量が減り、目標を達成することができました。作成部数の調整や文書の電子化、そして裏面使用など引き続き用紙類使用量の削減に向け徹底を図っていきます。

5) グリーン購入調達量（消耗品）

【単位：％】

分野 (H27)	グリーン購入調達率		分野 基準年 (H25)	グリーン購入調達率	
	個数ベース	金額ベース		個数ベース	金額ベース
OA 機器関係	100.0	100.0	OA 機器関係	100.0	100.0
紙 類	90.0	96.0	紙 類	93.6	92.6
切り・貼り用品	66.4	86.4	切り・貼り用品	82.5	92.7
整理用品	28.3	63.3	整理用品	30.3	69.3
筆記用具	42.6	53.0	筆記用具	49.2	52.3
ファイル	100.0	100.0	ファイル	100.0	100.0
封 筒	100.0	100.0	封 筒	100.0	100.0
文具雑品	13.4	13.2	文具雑品	41.6	38.2
合 計	79.3	93.0	合 計	84.5	89.9

分野によっては特定調達品目となっていないもの（例：ボールペン替芯、ステープラー針等）も購入しているため、全ての分野でのグリーン購入調達率 100%とはなりませんでした。物品購入の際は調達量そのものを増やさないリデュースを第一に、そしてグリーン購入適合品の調達を徹底していきます。

4. 環境への取組状況と評価

(1) 市の事務事業における環境に対する取り組み方針と取り組み項目

本宮市では、「本宮市役所地球温暖化防止実行計画」において、温室効果ガスの削減に向けた様々な取り組みを実践しています。以下は、全ての職員が日常的に配慮すべき基本的な取り組み項目としています。

■一般事務における取り組み項目

具体的取組項目		
1. エネルギー使用量の削減	(1)照明の使用	①始業前や昼休み及び残業時間等の不用な照明を消します。 ②各職場の最終退庁者は、消灯を確認します。 ③使用していない会議室、湯沸し室、トイレ等は消灯します。 ④晴天時など、窓際の照度が十分得られる場合は窓際の照明を消します。
	(2)電気機器等の使用	①昼休みや外出時等は、使用していないパソコンやOA機器等の電源を切ります。 ②使用していないテレビやビデオ等は、主電源を切ります。 ③各職場の最終退庁者は、OA機器等の電源が切つてあることを確認します。 ④電気ポットの使用を控えます。
	(3)冷暖房・空調機器の管理	①事務室内の温度や冷暖房時間は、施設の機能や使用実態等に応じ、適正化を図ります。(夏は28度、冬は20度を適正温度とします。) ②カーテンやブラインド等を適切に使用し、冷暖房負荷の軽減を図ります。 ③冷房時の軽装、暖房時の重ね着等、服装の工夫により室内の適正温度を維持します。
	(4)エレベーターの使用	①出来るだけエレベーターは使用せず、階段を利用します。
	(5)給湯器等の使用、運転管理	①給湯器等は、温度を適正にするなど適切な運転を行います。 ②退庁時や使用していない時間帯は、給湯器等の種火は消します。
	(6)業務の効率化、労働時間の短縮	①事務効率の向上に努め、残業時間の削減を図るとともに、定時退庁の促進を図ります。

2. 資源の有効利用	(1)水の有効利用	<p>①手洗いやうがい等衛生面や快適な生活に必要な水は使いながら、日常的な節水を徹底します。</p> <p>②トイレ使用時の過剰な水の使用を控えます。</p>
	(2)用紙類の使用量の削減	<p>①会議等で使用する資料の簡素化や、作成部数の適正化に努めます。</p> <p>②庁内LANや電子メールを活用し、ペーパーレス化を図ります。</p> <p>③印刷、コピーの両面刷りを徹底します。</p> <p>④文書及び資料の共有化を図ります。</p> <p>⑤各種印刷物は、作成部数を見直し必要最低限とします。</p> <p>⑥使用済封筒は、所属間の連絡用として再利用を図ります。</p> <p>⑦利用可能な文書の裏面は再利用します。</p>
	(3)廃棄物の減量化、リサイクルの推進	<p>①職員一人ひとりが、ごみの発生抑制と分別リサイクルに取り組みます。</p> <p>②物品等は、計画的に購入し、適正な在庫管理を行います。</p> <p>③備品等の修繕利用に努め、使用期間の長期化を図ります。</p> <p>④事務用品、機器等を購入する場合は、その必要性を考慮し適切な量を購入します。</p>
	(4)グリーン購入の推進	<p>①調達総量を出来るだけ抑制し、物品等の合理的な使用に努めます。</p> <p>②環境に配慮した物品調達（グリーン購入）を推進します。</p> <p>③使い捨て商品の購入を、極力避けます。</p>
3. 公用車の適正利用	(1)公用車利用の合理化、走行量の抑制	<p>①公用車の走行ルート of 合理化、運行状況の把握、相乗り等公用車の効率的な利用を促進します。</p> <p>②自転車の利用を図ります。</p>
	(2)クリーンエネルギー自動車の導入	<p>①公用車にハイブリッド自動車等のクリーンエネルギー自動車を導入します。 (134台中ハイブリッド車等8台)</p>
	(3)エコドライブの徹底	<p>①駐停車時のアイドリングストップを徹底します。</p> <p>②経済走行に努め、急発進、急加速、空吹かし等をしないよう徹底します。</p> <p>③タイヤの空気圧点検を定期的に行います。</p> <p>④不用な荷物は、積まないようにします。</p>

■公共事業における取り組み項目

取組項目	
1.環境負荷低減の推進	<ul style="list-style-type: none"> ①環境にやさしい工事資材を積極的に利用する。 ②環境負荷低減型の建設機械を使用する。 ③自然環境と調和した施設の整備を図る。
2.省エネルギーの推進	<ul style="list-style-type: none"> ①施設を建設する際は、自然光を活用できるような設計を行う。 ②低消費電力、センサー式の照明機器の導入に努める。 ③深夜電力を利用した機器の導入を検討する。 ④屋上やベランダ等の緑化を推進する。 ⑤ボイラー等を更新する際は、省エネルギー型を導入する。 ⑥効率的な作業方法を検討し、工事に伴うエネルギー消費を最低限に抑える。
3.新エネルギーの導入推進	<ul style="list-style-type: none"> ①太陽光などのクリーンエネルギーの採用を優先的に検討する。
4.耐久性を向上した構造物への転換推進	<ul style="list-style-type: none"> ①長寿命化コンクリート・舗装を採用する。
5.資源の有効利活用推進	<ul style="list-style-type: none"> ①再生資材の利用を積極的に行う。
6.水の有効利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ①雨水の有効利用を検討する。 ②節水こま、自動水栓等の節水機器の導入を図る。

(2) 取り組みチェックと評価

各課等の環境推進員が作成した「環境への取組チェックリスト」に基づき、平成27年4月から平成28年3月までの取り組み状況の確認と評価を行いました。

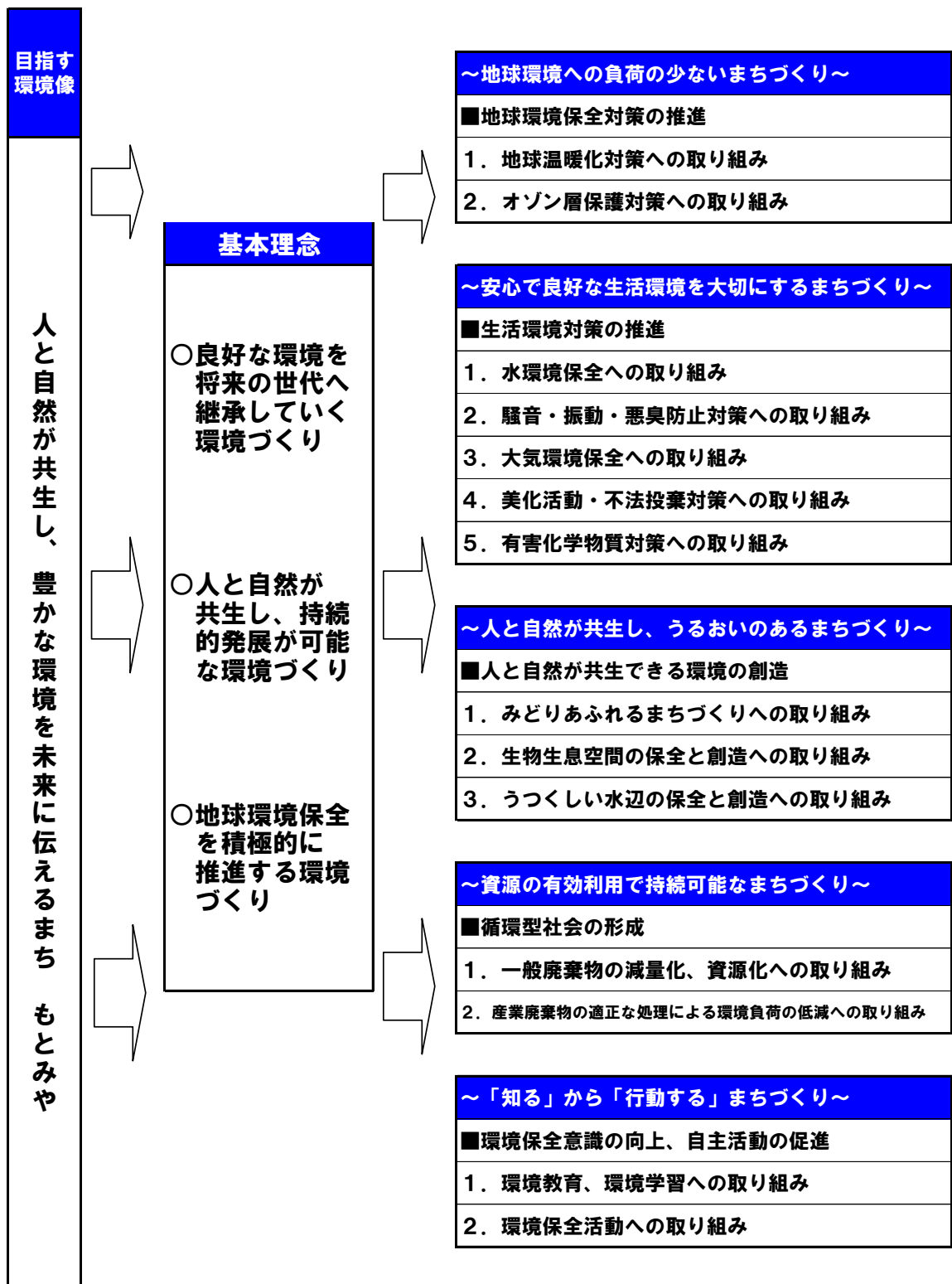
省エネルギー、省資源（用紙類の使用量削減）、水の効率的利用、リサイクル、適正処理等については、良好な取り組みが励行されました。

(3) 地域環境への取り組み状況（環境基本計画による取り組み）

本宮市では、行政活動に伴う環境負荷の低減のみならず、市全体の環境の保全及び創造に向けた取り組みを「本宮市環境基本計画」に基づき、推進しています。

環境基本計画では、「人と自然が共生し、豊かな環境を未来に伝えるまち もとみや」を環境像（将来像）に、市民、事業者、行政の各主体が、連携、協働しながら良好な環境を将来の世代へ継承していくこととしています。

◆環境基本計画の体系◆



◆環境基本計画における各取り組みの目標等◆

項目	取り組み目標	指標
地球温暖化対策への取り組み	エネルギーの合理的、効率的利用が図られ省エネルギー型のライフスタイルが実践されている。	1人1日 1kgのCO ₂ 削減
オゾン層保護対策への取り組み	フロン類の適正回収、処理が実践されている。	
水環境保全への取り組み	各河川の水質が環境基準以内に保たれている。	
騒音、振動、悪臭防止対策への取り組み	環境基準が保たれ、騒音、振動、悪臭による不快感がなく快適に過ごしている。	
美化活動・不法投棄対策への取り組み	美化意識が高まり、ポイ捨て、不法投棄等がない快適な空間が確保されている。	一斉美化活動等 参加率 75%
大気環境保全への取り組み	環境基準が保たれ、清浄な大気の中で、健康、快適に暮らしている。	
有害化学物質対策への取り組み	有害化学物質による環境汚染が未然に防止されている。	
みどりあふれるまちづくりへの取り組み	森林や都市部での緑地等が適正に管理されている。	
生物生息空間の保全と創造への取り組み	緑地や水辺の確保など身近な動植物等とふれあえる環境が確保されている。	
うつくしい水辺の保全と創造への取り組み	魚や様々な生き物が住める河川等の水辺で散策等が楽しめる。	
一般廃棄物の減量化、資源化への取り組み	日常生活の中で、ごみの減量化、資源化が実践されている。	減量化率 10% 資源化率 30%
産業廃棄物の適正な処理による環境負荷低減への取り組み	適正処理が確保され、減量化、資源化の進展により処分量が極力抑制されている。	
環境教育、環境学習への取り組み	環境教育の充実が図られるとともに、環境学習が全市的規模で展開されている。	環境教育に取り組んでいる市内の学校数 10校 環境教育、学習への市民の参加者率 10%
環境保全活動への取り組み	より多くの市民、事業者が、環境への関心を持ち、様々な環境保全活動が行われている。	一斉美化活動等 参加率 75%

◆環境基本計画における連携事業等◆

① 地球温暖化対策への取り組み

エネルギーの合理的、効率的利用が図られ省エネルギー型のライフスタイルが実践されている。

取組項目	取組実施状況	担当課
新エネルギービジョンに基づき、新エネルギーの普及促進を図ります	住宅に太陽光発電システムを設置した市民へ補助金（件数 40 件）を交付した。	生活環境課
	使用済食用油の回収を行い、公用車に環境にやさしいバイオディーゼル燃料（BDF）を利用する取り組みを行った。 (1,655ℓ 回収、283ℓ 使用)	生活環境課 防災対策課
照明器具を LED 照明に更新します	本庁舎の照明器具を LED 照明に更新した。 (H24～26 年度 延更新台数 467 台)	施設管理課
再生可能エネルギーを公共施設に導入します	太陽光発電設備設置施設 平成 23～26 年度 市役所本庁舎、白沢総合支所、サンライズもとみや、白沢公民館、本宮小学校、岩根小学校、五百川小学校、糠沢小学校、本宮第一中学校、本宮第二中学校、五百川幼保総合施設、高齢者ふれあいプラザ荒井、高齢者ふれあいプラザ岩根 平成 27 年度 白沢中学校、和田小学校、白沢老人福祉センター	生活環境課 施設管理課 地域振興課 生涯学習センター 白沢公民館 教育総務課 高齢福祉課
防犯灯を LED 照明に切り替えます	地域からの要望で新設する防犯灯を LED 照明とした。	防災対策課
冷暖房効率を高めます	本庁舎の出入口にエアーカーテンを設置し外気の侵入を防いだ。	施設管理課
公共交通の利用促進により二酸化炭素の排出を抑制します	バス運行 市街地巡回バス 4 コース 6,528 人 通勤・通学バス（本宮・長屋線） 7,978 人 市営バス（下樋・熱海線） 9,109 人 広域バス（岳・竹の内線） 9,813 人	生活環境課
	乗合タクシー 白沢地区内循環線、白沢本宮線、本宮地区内線 28,138 人	

② オゾン層保護対策への取り組み

フロン類の適正回収、処理が実践されている。

取組項目	取組実施状況	担当課
関係法令に基づき、フロンの適正な回収処理を行います	不法投棄物等の適正処理をした。	生活環境課

③ 水環境保全への取り組み

各河川の水質が環境基準以内に保たれている。

取組項目	取組実施状況	担当課
公共下水道の整備、水洗化率の向上を図ります	合併処理浄化槽の設置推進により、生活排水が適正に処理され、水質保全、生活環境の改善が図られた。	上下水道課
	未接続世帯等への水洗化の啓発活動を行った。 (水洗化率：96.9%)	
定期的に市内河川の水質調査を行います	市内7河川14箇所の水質調査を行い、各河川において良好な環境を保持していた。	生活環境課

④ 美化活動・不法投棄対策への取り組み

美化意識が高まり、ポイ捨て、不法投棄等がない快適な空間が確保されている。

取組項目	取組実施状況	担当課
美化活動を継続し、ポイ捨てをしない環境を作ります	市内一斉美化活動を行った。 (7月：6,205人、9月：6,038名、 3月：6,206名参加)	生活環境課
環境委員会や美化推進員を通じて環境意識の啓発を行います	不法投棄防止の看板を設置した。また定期的に監視パトロールを行った。	
監視、指導体制を強化します	不法投棄監視カメラを設置している。	
環境美化に関するボランティア団体などを支援します	県管理河川(安達太良川・百日川・白岩川・仲川)の草刈作業を地元団体(20団体)が行った。	建設課 産業建設課
	道路ふれあい月間として8月に道路の清掃活動(46行政区)を行った。	農政課
	緑化募金を活用し花いっぱい運動(58地区、マルチコート11,175本)を行った。	
ポイ捨て、不法投棄防止に関する啓発を実施します	不法投棄等についてホームページに掲載した。	秘書広報課 生活環境課
	美化運動実施のお知らせを広報もとみやに掲載し、また防災無線で放送した。	

⑤ 騒音、振動、悪臭防止対策への取り組み

環境基準が保たれ、騒音、振動、悪臭による不快感がなく快適に過ごしている。

取組項目	取組実施状況	担当課
公害の発生に備え関係機関などとの連絡協力体制の充実を図ります	工場または事業場における事業活動並びに建設工事の作業場等から発生する騒音・振動・悪臭防止に関する取り組みを行った。	生活環境課

⑥ 大気環境保全への取り組み

環境基準が保たれ、清浄な大気の中で、健康、快適に暮らしている。

取組項目	取組実施状況	担当課
大気汚染防止にかかる普及啓発活動を実施します	野焼き防止の啓発を行った。	秘書広報課 生活環境課
大気汚染に関わる排出物を出す事業者等への指導を強化します	市営バス及び広域バスの運行事業者にアイドリリングストップの徹底を図った。	生活環境課

⑦ 有害化学物質対策への取り組み

有害化学物質による環境汚染が未然に防止されている。

取組項目	取組実施状況	担当課
ダイオキシン類の発生抑制も含め野焼きの防止に努めます。	野焼き防止の防災無線を放送した。	秘書広報課
	野焼きを発見した際に注意を行った。	生活環境課

⑧ みどりあふれるまちづくりへの取り組み

森林や都市部での緑地等が適正に管理されている。

取組項目	取組実施状況	担当課
体験学習機会を企画します	フォレストパークあだたらにおいて森林ハイクを行い、森の木々や昆虫に触れ、また木の枝などを使用したクラフト作成を体験した。 (5 幼稚園・7 小学校 1,427 人参加)	農 政 課
生垣への助成を実施します	緑豊かな活力ある調和の取れた市街地を形成するため、生垣設置者に補助金 (7 件) を交付した。	まちづくり推進課
公園等の適正な維持管理に努めます	運動公園をはじめ市内の都市公園の施設や緑地の管理委託及び清掃等を実施しながら施設等の維持管理業務を行った。	建 設 課

⑨ 生物生息空間の保全と創造への取り組み

緑地や水辺の確保など身近な動植物等とふれあえる環境が確保されている。

取組項目	取組実施状況	担当課
生態系を壊す外来動物駆除や啓発活動を実施します	病害虫(アメリカシロヒトリ)防除機を各町内会に貸し出した。	生活環境課

⑩ うつくしい水辺の保全と創造への取り組み

魚や様々な生き物が住める河川等の水辺で散策等が楽しめる。

取組項目	取組実施状況	担当課
各主体と連携し水辺の清掃活動等を推進し、また多様な自然のある生物生息空間を保全、創造します	県管理河川について、除草作業等(20団体)を実施し、美しい水辺空間を確保する。	建設課 産業建設課
	農地・農業用水等の資源や農村環境の保全と質的向上を図る共同活動(17地区)を行った。	農政課 産業建設課
排水の適正処理に努めます	合併処理浄化槽の設置推進により、生活排水が適正に処理され、水質保全、生活環境の改善が図られた。	上下水道課

⑪ 一般廃棄物の減量化、資源化への取り組み

日常生活の中で、ごみの減量化、資源化が実践されている。

取組項目	取組実施状況	担当課
再生資源の回収を推進します	資源物回収を行う団体へ回収量に応じ助成金を交付した。 (登録73団体：439,067kg回収)	生活環境課
	生ごみ処理機の購入者へ購入費の一部を助成(6件)した。	
効率的なごみ収集・処理に努めるとともに、環境に与える負荷の低減を図ります	一般家庭から排出されるごみを19分類に分別し資源化を進める。	生活環境課
減量化、資源化、分別方法等に対する情報提供や啓発活動を実施します	ごみの分別方法や資源回収団体助成等についてホームページへ掲載した。	秘書広報課

⑫ 産業廃棄物の適正な処理による環境負荷低減への取り組み

適正処理が確保され、減量化、資源化の進展により処分量が極力抑制されている。

取組項目	取組実施状況	担当課
資材は再資源化されたものを積極的に使用します	再生材料(砕石・As合材)の利用促進を行った。	建設課

産業廃棄物の収集運搬も含め適切に処理されるよう啓発活動を行います	開発事業者に対し均衡ある地域開発のための指導を行い、協力を求めた。(18件)	政策推進課 生活環境課
----------------------------------	--	----------------

⑬ 環境教育、環境学習への取り組み

環境教育の充実が図られるとともに、環境学習が全市的規模で展開されている。

取組項目	取組実施状況	担当課
環境に関する情報の提供や環境教育、学習の場の機会を創出します	環境に関するまちづくり出前講座を行った。(5回)	秘書広報課 生活環境課
環境教育、学習の場の充実を図ります	市民の憩いの場、都市住民との交流のため岳山実習館等の施設の適切な維持管理を行う。(延べ利用者数 560人)	産業建設課

⑭ 環境保全活動への取り組み

より多くの市民、事業者が、環境への関心を持ち、様々な環境保全活動が行われている。

取組項目	取組実施状況	担当課
環境保全活動に関する普及啓発活動を実施します	環境に関する情報を広報もとみや及び防災無線で放送した。	秘書広報課
	安達太良川及び市内小中学校のプールへEM活性液を放流しているもとみや四季祭委員会の活動を支援する。	生活環境課

5. 環境に関する苦情の受付状況

区分	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	悪臭	地盤沈下	その他	計
H27	8	5	0	4	0	5	0	0	22
H26	0	1	0	3	0	9	0	0	13
H25	0	1	0	1	0	3	0	0	5
H24	0	3	0	1	0	4	0	3	11
H23	0	1	0	0	0	0	0	0	0

過去5年間、環境分野において市の事務事業に関する苦情の受付はありませんでした。市内における公害等の苦情に関しては、上記のとおりとなっています。

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

本宮市の事業活動において、法令違反の発生は報告されていません。また、環境関連法規の違反及び訴訟もありませんでした。

■環境関連法規等の遵守状況

種別	関係法規等名	関係分野	関係課	遵守状況
循環関係	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物の減量に関する施策 ・ 一般廃棄物処理計画の策定 ・ 事業活動に伴う一般廃棄物の適正処理 	全庁 生活環境課	○
	浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浄化槽によるし尿処理 ・ 保守点検 ・ 定期点検 	全庁 上下水道課	○
	国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境物品等への需要の転換 ・ 環境物品等の選択 ・ 環境物品等の調達の推進 ・ 環境物品等調達の推進に当たっての配慮 	全庁 財政課	△
	特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定家庭用機器の長期間使用及び特定家庭用機器廃棄物の排出抑制 ・ 特定家庭用機器廃棄物の適正処理 ・ 特定家庭用機器廃棄物の収集及び運搬並びに再商品化等の促進 	全庁	○
	使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車の長期間使用及び使用済自動車の抑制 ・ 再資源化等に配慮した自動車の選択 ・ 使用済自動車の再資源化等の促進 ・ 使用済自動車の引渡義務 	全庁 施設管理課	○
公害対策関係	大気汚染防止法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業活動に伴う有害大気汚染物質の大気中への排出又は飛散の状況の把握及び排出又は飛散抑制 ・ 大気汚染の調査 ・ 市民への情報提供等 	全庁 生活環境課	○
	騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規制基準の遵守義務 	全庁	○
	振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規制基準の遵守義務 	全庁	○
	水質汚濁防止法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定施設の事故の措置 ・ 貯油施設等の事故の措置 ・ 生活排水処理施設の整備 	全庁	○
	悪臭防止法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 悪臭が生ずる物の焼却の禁止 ・ 地域における悪臭の防止 	全庁 生活環境課	○

化学物質・ 危険物関係	特定化学物質の環境への 排出量の把握等及び管理 の改善の促進に関する法律(P R T R法)	<ul style="list-style-type: none"> 指定化学物質等の自主的な管理の改善促進 指定化学物質等に関する国民の理解及び人材の育成 	全 庁 生活環境課	○
	ダイオキシン類対策特別 措置法(ダイオキシン対 策法)	<ul style="list-style-type: none"> ダイオキシン類による環境の汚染の防止 	生活環境課	○
	ポリ塩化ビフェニル廃棄 物の適正な処理の推進に 関する特別措置法(P C B特別措置法)	<ul style="list-style-type: none"> ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正処理 	生活環境課	○
温暖化防止・ 省エネルギー	地球温暖化対策の推進に 関する法律(地球温暖化 対策法)	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化対策の推進及び市民への働きかけ 市役所における地球温暖化対策実行計画の策定 	生活環境課	○
	エネルギー使用の合理化 に関する法律(省エネ法)	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー使用の合理化 	全 庁	○
その他	消防法	<ul style="list-style-type: none"> 人的及び技術的援助についての配慮 火災の通報及び協力 消防隊の配置 製造所、貯蔵所又は取扱所についての定期点検 	全 庁 施設管理課	○
	下水道法	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道の管理 流域下水道の管理 都市下水路の管理 	上下水道課	○
公共事業関連	建設工事に係る資材の再 資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	<ul style="list-style-type: none"> 建設工事の分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等の促進 地域における分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等の促進 特定建設資材廃棄物の再資源化をするための施設の適正な配置及び当該施設の整備の促進 	全 庁	○
	廃棄物の処理及び清掃に 関する法律(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動に伴う産業廃棄物の適正処理 	全 庁	○
	国等による環境物品等の 調達の推進等に関する法 律(グリーン購入法)(再 掲)	<ul style="list-style-type: none"> 環境物品等への需要の転換 環境物品等の選択 環境物品等の調達の推進 環境物品等調達の推進に当たっての配慮 	全 庁 財 政 課	△
環境保全・ 創造関連	地球温暖化対策の推進に 関する法律(地球温暖化 対策法)	<ul style="list-style-type: none"> 排出抑制等指針の公表 	生活環境課	○

	国等による環境物品等の調達等の推進等に関する法律(グリーン購入法)	<ul style="list-style-type: none"> 環境物品等への需要の転換 環境物品等への予算及び方針作成 環境物品等の調達の目標設定 環境物品等の調達 	全庁 財政課	○
	環境情報の提供等の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律(環境配慮促進法)	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した事業活動の推進 所掌事務に係る環境配慮等の公表 	生活環境課	○
	国等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律(環境配慮契約法)	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス等の排出削減に配慮した契約の推進 	財政課	○
	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律(環境活動・環境教育推進法)	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全の意欲の増進及び環境教育の推進に関する方針、計画等の作成及び公表 学校教育及び社会教育における環境教育の推進 	幼保学校課	○
福島県条例	福島県循環型社会形成に関する条例	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動に当たっての環境への配慮、廃棄物等の抑制及び適正処理並びに循環的利用 循環型社会の形成 	全庁	○
	福島県生活環境の保全等に関する条例	<ul style="list-style-type: none"> 工場等騒音規制基準の遵守義務 低公害車の使用 屋外燃焼行為の禁止 合併処理浄化槽の設置 近隣の静穏保持 	全庁	○
本宮市条例	本宮市公害対策条例	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動に伴って生ずる、ばい煙、汚水、廃棄物等の処理等、公害の防止。 良好な生活環境の保全 	生活環境課	○
	本宮市美しいまちづくり推進条例	<ul style="list-style-type: none"> ごみの散乱防止 環境整備に必要な措置 草花、樹木等の植栽 公共の場所等のごみ捨て禁止 	生活環境課	○
	本宮市緑化推進条例	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動に当たっての環境の緑化 本宮市緑化計画の策定 公共施設の緑化 	建設課	○
	本宮市下水道条例	<ul style="list-style-type: none"> 排水設備の設置 	上下水道課	○

7. 代表者による全体の評価

本宮市では、「本宮市環境基本条例」、「本宮市環境基本計画」、「本宮市役所地球温暖化防止実行計画」及び「本宮市地域新エネルギービジョン」に基づき、地域における環境施策と市で実施する事務事業における環境への配慮に取り組んで参りました。

平成 21 年度は、エコアクション 21 の認証登録に向けた取り組みを全職員で実践し、平成 22 年 3 月に市役所本庁舎において認証・登録を行うことが出来ました。

平成 26 年度からはエコアクション 21 の取り組みを継承し、市独自の取り組みを推進しています。平成 27 年 2 月に温室効果ガス削減目標と環境に配慮した行動目標を示す「本宮市役所地球温暖化防止実行計画（第 2 次改訂）」を策定し、引き続き環境保全に配慮した事務事業を推進していきます。

平成 23 年 3 月の東日本大震災、そして原子力災害という未曾有の被害を受け、復旧・復興に向け多くの労力とエネルギーを費やしてきましたが、元気な「もとみや」を取り戻し、子どもから高齢者まで、住む人も訪れる人も、自然も、産業も、文化も、互いに結びあいながら常に輝いていることを実感できる本宮市を築くため、今後も邁進していくものであります。

実行計画(第 2 次改訂)では、平成 30 年度を目標年度として取り組んで行きますが、今までの環境活動を再度見直し、あらためて全職員一丸となって環境の保全と創造に努める所存です。

今後とも、公共施設の改修時や市の事務事業において、一層の環境負荷の低減に向けた取り組みを実践して参りたいと考えております。

平成 28 年 1 2 月 5 日

本宮市長 高松 義行